

北海道熊研究会 会報 第 120 号 2023 年 8 月 20 日

【創刊 2013 年 1 月 25 日】

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nichols ピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

Tel 011-892-1057

- ご意見ご連絡は、下記の email へお願い致します
E-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp
- 会報の 1～118 号以前の号は Website に「北海道野生動物研究所」と入力し、
ご覧下さい。
- 「北海道熊研究会」の Facebook と Twitter の編集は横山敬子氏が当たります
Facebook : <https://www.facebook.com/HokkaidoBearResearchAssociation>
- 「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association の活動目的
熊の実像について調査研究し、それを啓発する事です。

私 (門崎允昭) の熊に関する基本姿勢は人的経済的被害を予防しつつ、極力熊は殺すべきでないという立場です。

理由 :

この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として、他種生物に対して、人が為すべき正しき道に基づく理念による。

<本号のお知らせ>

門崎允昭が新刊書を刊行します

<表紙の記述>

書名 北海道のヒグマ問題 市街地になぜ出て来るのか 他

ヒグマの居る山野ではホイッスルと鉦が必需品です

市街地、放牧地、農地等への出没抑止には有刺鉄線柵や電気柵を張る事です。

目次

- ① 第1章 熊が居そうな場所に行く場合の注意
- ② 第2章 熊に対する誤った対応；4事項
- ③ 第3章 熊が市街地に出て来るに至った経緯と、その出没阻止対策
- ④ 北海道の熊関係の変遷：明治初期から今に至る
- ⑤ 門崎允昭の公表済み学術論文：61編の一覧と書籍一覧

書籍は 北海道出版企画センター4書と
北海道新聞社4書：3点は犬飼哲夫先生と共著
他の1書は鳥類学事典（呼吸器の部分を執筆）